

主な内容	
一般質問議員と質問項目	1
一般質問から	2・3
議会改革調査特別委員会活動報告	3
議案等審議結果一覧	3
平成28年度決算審査	4・5
主な質疑	5
委員会報告	6



那須烏山市 Nasukarasuyama City

議会だより

発行
那須烏山市議会
編集
議会広報委員会
事務局
☎0287-88-7114



つくし幼稚園運動会(平成29年9月30日)

9月定例会が9月5日(火)に招集され、9月15日(金)までの11日間の会期で行われました。提出された議案等の審議の結果は3ページに掲載しています。

なお、議決された議案の内容など、詳しくは「広報なすからすやま第145号」をご覧ください。

一般質問議員と質問項目(質問順)

※赤字の項目は、本紙2〜3ページに質問と答弁の内容を記載していますのでご覧ください。

滝口 貴史 議員

- 1 市民憲章の制定のプロセスについて
- 2 運動公園等スポーツ施設の利便性について
- 3 老朽化した道路、農業用水路の改修について
- 4 子ども議会について
- 5 住みよさランキングについて
- 6 水道事業の健全化・効率化に向けた取り組みについて

平塚 英教 議員

- 1 産廃処分場建設について
- 2 山あけ行事について
- 3 中山間地域対策について
- 4 健康づくりリーディング活用について
- 5 就学援助制度の改善について
- 6 障がい者支援対策について

渋井 由放 議員

- 1 水道事業について
- 2 ごみの有料化と減量化について
- 3 登記情報サービスの利用について
- 4 橋梁の長寿命化計画について

中山 五男 議員

- 1 高齢者福祉事業の見直しについて
- 2 学向上策の成果について
- 3 英語教育について
- 4 小中学生の就学援助制度について

樋山 隆四郎 議員

- 1 合併以来3期12年の総括について

高田 悦男 議員

- 1 太陽光発電所について
- 2 市道管理について
- 3 安全・安心の取り組みについて

小堀 道和 議員

- 1 若者が住みたくなくなるまちづくりについて
- 2 なすから英語塾の活性化について

矢板 清枝 議員

- 1 防災対策について
- 2 マイナンバーカードを活用した情報連携について
- 3 子育て環境の充実について
- 4 子どものインフルエンザ予防接種について
- 5 イングリッシュキャンプについて



議会の動き	
平成29年7月	22日〇「山あげ祭」開催期間のJR烏山線利用客のお出迎え
	29日〇議会だより第45号発行
	31日〇議会改革調査特別委員会
	〇議員全員協議会
8月	1日〇経済建設常任委員会視察研修(2日まで 新潟県柏崎市他)
	9日〇総務企画常任委員会視察研修(10日まで 岩手県遠野市他)
	23日〇行財政改革調査特別委員会視察研修(群馬県下仁田町)
	24日〇議会改革調査特別委員会 議会基本条例検討作業部会
	29日〇議会運営委員会
	〇議員全員協議会
	〇議会改革調査特別委員会
9月	5日〇議員全員協議会
	〇9月定例会(15日まで)
	〇議員全員協議会
	6日〇行財政改革調査特別委員会
	7日〇議会報告会資料等打合せ
	8日〇議会広報委員会
	11日〇各常任委員会(12日まで)
	15日〇議会運営委員会
	〇議員全員協議会
	〇議会報告会資料等打合せ
	27日〇議会改革調査特別委員会
10月	7日〇議会報告会
	11日〇議会報告会事後検証会
	〇議会広報委員会
	18日〇議会広報委員会
	24日〇議会改革調査特別委員会 議会基本条例検討作業部会

平成29年9月定例会 一般質問から

※質問・答弁の内容は要約してあります。
会議録は市立図書館及び市ホームページで
閲覧できます。

滝口貴史議員

水道事業の健全化・効率化 に向けた取り組みについて

(問)平成32年度までに簡易水道施設を上水道施設に接続、統合するとともに、企業会計への経営統合を進めることにより、水道事業の健全化・効率化を図る方針が示されている。各種施設、設備の効率的な維持管理対策を含め、その具体的などのようなスケジュールで行うのか伺う。

(答)本市において、企業会計である水道事業のほか、簡易水道事業特別会計として向田、境、境東、興



簡易水道施設 境浄水場

野の4つの簡易水道事業を運営している。この簡易水道事業を含めた水道事業全体の健全化・効率化のため、平成30年度までにアセットマネジメント(持続可能な水道事業のための資産管理計画)を策定することとしている。平成32年度までに簡易水道事業を水道事業に統合する方針とし、現在は統合準備のための簡易水道区域における管網解析業務委託の準備を進めている段階である。市公共施設等総合管理計画に示したとおり、機械・電気設備、水道管路に関する更新計画を踏まえ、新水道ビジョンを策定し、計画に基づいた施設、管路の維持管理・長寿命化を図り、さらなる水道事業の健全化・効率化を進め、安全で良質な水道水の安定供給に努めたい。

中山五男議員

学力向上策の成果について

(問)田代教育長の任期は、余すところ来年3月までの7ヶ月間である中、就任時に掲げた学力向上策は目標値を成し遂げられたのか。今年の全国学力・学習状況調査の成績を伺いたい。

(答)小学6年生は国語Aが全国平均正答率をやや上回ったものの、他の教科はやや下回った。中学3年生は国語、数学ともに平均をやや下回る結果となった。

(問)小学4、5年生、中学2年生を対象に行われたとちぎっ子学習状況調査の成績を伺いたい。

(答)小学4、5年生は、全ての教科で県平均を上回った。一方で、中学2年生は英語が平均を上回ったものの、他の教科は平均を下回った。今後ますます授業の質の向上に取り組みたい。

高齢者福祉事業の見直しについて

(問)敬老会は各自治会が主催し、開催費用として市から約940万円が交付されている。真の効果を上げるため、市の助言等が必要と考えるが、敬老会のあり方について見解を伺う。

(答)現状では、敬老会の参加率は40%程度である。そのあり方については、敬老会等検討委員会において見直しを始めている。

小堀道和議員

若者が住みなくなるまちづくりについて

(問)本市の少子超高齢化は、今後さらに深刻になる。若者への支援に予算が回らず、若者の多くが結婚や子育てをためらう構図になっていないか懸念している。若者を引き付けるような魅力ある制度を設けるべきだが、財源確保が困難である。財源確保のためには高齢者の優遇制度を見直し、若者に財源を回すことも必要であるという観点から、敬老祝い金の見直しを提案したい。さらには高齢者が健康マイレージ事業等を活用して自らの健康を維持することが、医療や介護費用の削減につながり、結果的には若者支援に結びつくとい

う文化を、市民運動として醸成すべきと考えるが見解を伺う。

平塚英教議員

就学援助制度の改善について

(問)就学援助制度には、就学に必要な用品を入学前に準備するための、新入学児童生徒の入学準備費用の援助があるが、経済的に困窮する家庭に対して入学後に支給されている。県内には、生活保護に準ずる準要保護世帯の児童生徒に対する支給時期を、既に入学期から入学前に変更している自治体もある。本市においても支給時期を入学前に改善し、対象世帯の負担軽減を図りたい。

(答)県内市町では、今年度の新小学1年生と新中学1年生に対する入学準備金の支給を、入学前の3月に早めた自治体もある。本市も平成30年度の新入生に対する入学準備金からは3月までに支給し、支援の強化を図りたい。入学準備金の



安心して学校に通うための就学援助制度

樋山隆四郎議員

合併以来3期12年の総括について

(問)大谷市政が重視してきた財政調整基金等各種基金及び市債残高の推移と、その対応について伺う。

(答)財政調整基金、減債基金、定額運用基金を含む特定目的基金の合計は、平成28年度末63億7千万円、17年度末34億8千万円で、28億9千万円、83%の増加である。市債残高は28年度末132億2千万円、17年度末127億7千万円で、4億5千万円、3.5%の増加である。平成28年度からは普通交付税が段階的に減額されることもあり、行財政改革と財政健全化の堅持が必要である。

(問)自主財源は平成27年

度一般会計の33%の41億円1千万円、依存財源は67%の85億3千万円である。この財政構造でさらに歳入が減少すると、市民サービスに影響を及ぼす可能性もあるが、対応について伺う。

矢板清枝議員

防災対策について

(問)現在、4事業所と災害発生時における福祉避難所の設置に関する協定を締結している。さらに具体的な行動計画の策定が欠かせないと思うが、見解を伺う。

(答)協定を締結した大和久福祉会、敬愛会、聖園ヨゼフ老人ホーム、正州会の4社会福祉法人との協議により、福祉避難所の運営体制や物資・機材等の整備、人材・移送手段の確保、社会福祉施設・医療機関との連携、福祉避難所の対象となる要配慮者の把握等の取り組みを進めていく。

子どものインフルエンザ予防接種について

(問)本年3月定例会における一般質問の答弁で、子どものインフルエンザ予防接種助成の対象年齢等が未定とのことであった。その後の検討の進捗状況を伺う。

(答)助成の対象年齢は他の定期予防接種との整合性を考慮して、1歳から15歳

に達する最初の3月31日までにいる者(中学3年生相当の年齢)までとし、接種回数は13歳未満が2回、13歳以上が1回とする。接種時期は10月から翌年2月末までの期間とし、ワクチンの有効性を考慮して年内での接種終了を推奨する。



本年度から始まる子どものインフルエンザ予防接種に対する助成

渋井由放議員

水道事業について

(問)水道事業は企業会計で、一般会計からの繰り入れがなく独自に運営をしている。人口減少に伴い収入の減少が見込まれる。設備の耐震化や更新に対して、どのように計画しているのか伺う。

(答)水道事業は、城東浄水場系をはじめとして計6系統の施設があるが、いずれも老朽化が進んだり、耐用年数を経過したりしている。平成30年度までにアセットマネジメント(持続可能な水道事業のための資産管理計画)を策定するとともに、水道管更新計画を見直す予定である。

(問)今までに度々漏水調査を行っているが、なかな

か改善されない。配水管が古い箇所は漏水が多いのではないのかと推察する。布設から年数が経過している箇所は、布設替を含めた検討を要する時期に差し掛かっているのではないかと。(答) 指摘のとおり、配水管が古い箇所からの漏水の可能性が高い。特に、昭和40年代に布設された箇所の一つである、国道294号の野上アンダーから烏山水処理センター付近までについて、対応を考えていきたい。布設替により漏水が改善されれば幸いだが、何より耐震化につながるため、よく検討したい。

高田悦男議員

太陽光発電所について

(問) 市内で稼働中、協議中等の太陽光発電所の発電量や開発面積等を伺う。

(答) 稼働中26件、工事中1件、事前協議中が1件で、発電出力は13万kw、開発面積は約275haである。計画中の太陽光発電所から変電所まで架空、地下埋設等による送電の計画に同ガード下の県道縦断があるため、現在、事業者と烏山土木事務所が協議中である。予告信号については、県公安委員会と対策を協議、検討していきたい。



送電線設置が計画されている田野倉ガード周辺

市道管理について

(問) ひばりヶ丘団地内道路の市道編入は、住民の悲願であるが未だかなっていない。市の見解を伺う。

(答) 市道の新規認定には、土地の権利問題の解決や市道の規格に準じた構造であることを要する。現時点で市道ではないため、市による本格的な修繕は難しいが、可能な限りの支援をしたい。

団地入口の県道には何らかの対策を講じるよう烏山土木事務所に申し入れたい。

議会改革調査特別委員会活動報告

当委員会の活動状況について報告します。

当委員会は開かれた議会を目指した全議員参加の組織です。効率よく運営するため「議会基本条例検討作業部会」と「議会報告会検討作業部会」に分け、それぞれの部会が当面の課題に取り組みました。

議会基本条例検討作業部会は、先進市の条例を参考にしながら本市議会にふさわしい議会基本条例について、調査、研究を行っているところです。

議会報告会検討作業部会は、平成28年度決算に関する報告会を開催することとし、去る10月7日に次のとおり実施しました。なお、この議会報告会は、3月の



議会報告会において平成28年度決算の概要を報告する渡辺議長

試行に次ぐ2回目の開催になりました。

当日は、市民の方々に議会の議決事項とその内容や市政に関する情報などを伝えるとともに、参加者から意見、要望等をいただき、意見交換の場を設けました。

①開催日時
平成29年10月7日(土)
午後7時から

②開催場所
那須烏山消防署(神長地内)多目的ホール

③参加者
市民18名

④報告内容

平成28年度決算の概要と決算認定に至る経緯等、次のとおり報告しました。出席議員が自己紹介した後、渡辺健寿議長が平成28年度決算の概要と本市の財政事情等諸問題を報告しました。

続いて、総務企画常任委員会沼田邦彦委員長、文教福祉常任委員会田島信二委員長、経済建設常任委員会平塚英教委員長



質問をする議会報告会参加者

の順に、所管する課等の主要な事業と決算審査において、議会が市に対して求めた改善点や要望等を中心に報告しました。

⑤意見交換会
参加者に質問や意見を求めました。その中には議会に対する厳しい意見も寄せられていましたので、それらを重く受け止めたと思います。

9月定例会 議案等審議結果一覧

(全会一致)			議案等			審議結果			議案等			審議結果					
議案第12号	教育委員会委員の任命同意について	同意	議案第6号	平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)について	可決	議案第13号	固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	同意	議案第14号	平成28年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決	議案第1号	議会会議規則の一部改正について	可決	追加議案第1号	道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書の提出について	可決
議案第8号	個人情報保護条例及び情報公開条例の一部改正について	可決	議案第7号	農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	可決	議案第9号	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決	議案第10号	非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	議案第11号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	可決	議案第3号	監査委員(議会選出)の選任同意について	同意
議案第1号	平成29年度一般会計補正予算(第2号)について	可決	議案第2号	平成28年度熊田診療所特別会計決算の認定について	認定	議案第2号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第6号	平成28年度農業集落排水事業特別会計決算の認定について	認定	議案第3号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第7号	平成28年度下水道事業特別会計決算の認定について	認定
議案第2号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第4号	平成28年度簡易水道事業特別会計決算の認定について	認定	議案第3号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決	議案第8号	平成28年度水道事業会計決算の認定について	認定	議案第4号	平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	議案第9号	平成28年度水道事業会計決算の認定について	認定
議案第3号	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)について	可決				議案第5号	平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	可決									

(起立による採決)

議案等	審議結果	議員別賛否一覧																
		相馬	小堀	滝口	矢板	望月	田島	渋井	久保居	渡辺	高徳	佐藤	沼田	樋山	中山	高田	小森	平塚
認定第1号 平成28年度一般会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号 平成28年度国民健康保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号 平成28年度後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号 平成28年度介護保険特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席

9月定例会において審査された請願・陳情

番号	件名	紹介議員	審査結果
陳情書第3号	農業者戸別所得補償制度の復活をもとめる陳情	なし	継続審査

※掲載は採決順。 ※渡辺議長は表決に加わらない。

平成28年度決算審査

平成28年度一般会計、7特別会計、水道事業会計の決算については、所管の各常任委員会に付託され、慎重な審査が行われました。

ここでは、各常任委員会の審査の中で出された意見等の中で、本会議において報告された内容を掲載します。

総務企画常任委員会

所管する課等

総合政策課、まちづくり課、総務課、税務課、会計課、議事事務局、監査委員、選挙管理委員会及び固定資産評価審査委員会

各課横断的なもの

○防災情報も含めた多くの行政情報、ICT(情報通信技術)により発信されている。しかし、市の人口の3分の1は高齢者であるが、そのうち相当数の方がICTを使いこなせていないのが現状と考える。また、平成34年には南那須地区の防災行政無線が使えなくなる。これらを踏まえ、市全域で高齢者も容易に行政情報を入力できる情報伝達手法について十分に検討されたい。

総合政策課

○総合政策課ができてから10年近くが経過するが、設置当時に期待された、組織全体の調整、各課への指導的役割などの機能が十分に果たされていないように感じる。原点に立ち返り、期待された機能を発揮し、市の核として大いに活躍されたい。

気運を醸成されたい。なお、市民号については、烏山線利用向上に寄与するという本来の目的が達成できるような工夫し、企画されたい。

まちづくりに関する市民主導の取り組み

○まちづくりに関する市民主導の取り組みに対し、財政面だけに留まらない側面的な支援、指導を施されたい。なお、補助金ありきの事業に対する支援は原則として行わず、補助金の交付終了後も継続して展開されることが見込まれることを財政的支援の前提とされたい。

総務課

○地方公務員法の改正により、実施が必須となった人事評価であるが、初年度の平成28年度は大分苦勞されたようである。完全な制度をつくることは簡単ではないとは思ふ。職員のやる気を引き出す仕組みとなるよう努められたい。

税務課

○収税事務に関しては「法律に基づいた滞納整理」への転換を意識し、早期着手・早期処分を心掛けてきた、とのことである。法を遵守することは当然のことであり、その取り組みは評価するが、真に困窮する納税者に対する配慮を欠くことのないよう十分に留意されたい。



利用向上と活路が求められるJR烏山線

JR烏山線は、当市にとって欠くことのできない重要な資産の一つである

この利便性の向上のため、さらには存続のためには、利用者の増加が欠かせない。そのために様々な取り組みをされているが、大きな成果は挙がっていないように見受けられる。例えば市職員が県都に出張する際は積極的に烏山線を利用するなどして、市全体で利用向上を図る

市民課

○市民と最も接する頻度が高い業務内容であり、「市役所の顔」として接遇の向上に努力されていることを評価する。さらなる向上を期待する。また、今後マイナンバーを利用した各種行政手続きにおける連携が広まることを念頭に、市民へマイナンバーカードの利点を周知し、普及啓発に努められたい。

健康福祉課

○今後、一層高齢化が進むことにより、医療・福祉に係る費用の増加は明らかであるため、対策として予防事業に力を入れる必要がある。行政主導の事業に限らず、地域や市民による見守り活動、居場所づくり等の自主事業を育て、また、健康マイレージ事業等の活用により、市民が可能な限り自立し、自ら健康でいる意識を持たせることを目標とされたい。

高齢者福祉タクシーとまちづくり課所管デマンド交通は機能が類似、一部重複している

デマンド交通のほうを対象を広く設定しているため、高齢者福祉タクシーの代替、包括が可能であるか調査のうえ、調整されたい。

こども課

○乳幼児健康診査や面談、家庭訪問等において、現状でも母子に対するケアを十分にされているが、特に困難を抱える親子、家庭に対する手厚い支援



子どもの健康管理に限らず親子のケアの機会にもなる健診

に特化することを提案する。また、担当職員の加重負担を解消するため、行政以外に対応の協力を求めることができるような仕組みづくりを検討されたい。さらに、他市町と比較して優位性があり、市外から転入し、定住を検討する若年者にとって魅力の一つとなるような市単独事業について検討されたい。

文化振興課

○日本ジオパーク認定が見送られたため、事業の仕切り直しの検討が必要であると考える。ジオパーク構想の基本理念とこれを取り巻く環境を見直し、教育やまちおこしの視点を取り入れて事業を再構築されたい。同様に長者ヶ平官衙遺跡の活用についても、楽しく学習できるような視覚に訴える工夫をする等、市民を巻き込む活動が生まれることを期待する。

経済建設常任委員会

所管する課等

農政課、商工観光課、環境課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会

農政課

○平成30年度から新農業委員会体制に移行し、新たに農地利用最適化推進委員も選任する。そのような変革期の中で、本市農業の本格的な担い手育成と農地の集積・集約化及び377畝に及ぶ遊休農地などの問題解決に向け、行政、農業関係団体及び集落営農組織等が一

環境課

○市民からの空き地・空き家に関する相談窓口統括が環境課となっているが、



龍門ふるさと民芸館(左上)、山あげ会館(左下)、大金駅前観光交流施設(右)

体となって全力を挙げて取り組まれない。○地域特産品ブランド化推進による特産品づくりについては、農政課だけでなく関係各課が一体となつて対策を進め、意欲ある民間団体や個人がしっかりとした実績を残せる支援体制を構築されたい。

商工観光課

○山あげ会館、龍門ふるさと民芸館、大金駅前観光交流施設の有効活用を図り、観光行政については、正確なデータを集め、それを分析し、市の観光行政が発展するよう対策を強化されたい。市が補助をしている組織、団体についても、例年同様の事業消化という意識ではなく、コスト意識を持って対応するよう指導されたい。また、プレミアム付き商品券事業についても、市内の産業及び経済の活性化につながるようさらに研究されたい。

関係各課(総務課・まちづくり課・税務課・都市建設課・商工観光課)の対応が不確定だったため、平成28年度に係る職員向けの相談対応マニュアルが作成され、統一的な対応を実施している。しかし、市は空き地・空き家の明確な実数を把握しておらず、各課それぞれで対応している状況である。総合的な空き地・空き家対策を推進する体制を整え、抜本的な措置を講じるよう進められたい。

都市建設課

○市営住宅116戸の使用料については、現年、過年度分すべて収納済みであり、担当課の努力の跡が見られ評価できる。

上下水道課

○市道等の維持管理について、路肩やのり面の草刈り等は、道路・河川愛護会等の協力のもとに行われているのが実状である(市道404キロメートルの約90%)。今後高齢化により、同様の作業が困難になると予想されるので、行政と地域住民との協働により、解決策を検討されたい。

上下水道課

○烏山中央処理区下水道の水洗化率は、ここ数年漸増傾向にあり、担当課の普及啓発の努力の成果が見られるが、南那須処理区下水道及び興野地区農業集落排水と比較するとまだまだ水洗化率に格差がある。さらなる水洗化率の向上を図れるよう努力されたい。

○橋梁等の補修については、法令に基づき点検を実施しているが、その中で早急に措置を講ずるべき状態の橋梁があり、補修には莫大な経費を要することが想定される。有利な交付金事業等を取り入れ、市の財政負担を少しでも圧縮できるよう努められたい。

上下水道課

○水道管更新計画の策定及び水道施設基幹構造物耐震第2次診断を順次進め、老朽管更新工事は平成32年度以降に実施していくこととしている。これらの事業に加え、簡易水道の統合計画を進めながら、将来の水道事業に支障のない新水道ビジョンの策定を進められたい。



補修が計画されている藤田橋

主な質疑

平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率について

議員 平成28年度実質公債費比率は7.3%、将来負担比率は19.9%であり、下降傾向である。健全化に向かっているという理解でよろしいか。

答弁 指摘のとおり健全化に向かっている。

那須烏山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

議員 条件によって市職員の再度の育児休業を認められるようにする改正内容であるが、民間と比較して手厚いものであるのか、どの程度の違いがあるのか伺う。

答弁 法による最小限の制度として、育児休業を申請できる期間は、民間企業では従業員の子どもの年齢を1歳未満としているところを、本制度では地方公務員の育児休業等に関する法律に基づき3歳未満を対象としている。

平成29年度補正予算について

議員 荒川小学校の児童の寄付金による、遊具設置の計画について伺う。

答弁 小学生程度を対象とした年齢や体格の異なる子ども同士や親子でも一緒に楽しめる遊具を、保健福祉センター隣の公園内に設置する計画である。

9月定例会での議員質疑の中から、主なものを要約して掲載しています。
会議録は市立図書館及び市ホームページで閲覧できます。



道路改良が計画されている市道中央2丁目鍛冶町泉町線

議員 土木費については、新規道路の整備より保全を優先する方針もあつたが、道路新設改良費の詳細な内容を伺う。

答弁 中央2丁目鍛冶町泉町線の整備、小河原の二原線の改良工事、向田の赤芝内線の調査の費用である。二原線は平成24年度から着手している危険箇所解消工事、次年度以降、さらに3千5百万円を要する見込みである。

議員 消防費に関連し、北朝鮮の危険行動に関するアラートが発せられたが、対応訓練等の予定について伺う。

答弁 ミサイルに関する対応は、他の訓練等を参考にして消防団等と調整、検討し、早めに訓練を実施すべきと考えている。

議員 市立幼稚園、保育園の定員に余裕があるにもかかわらず、私立の小規模保育園に補助金を交付

することが適当か伺う。
答弁 市立保育園では臨時職員の保育士の確保が難しく、0歳児から2歳児の受入れ態勢が十分ではない状況である。私立の小規模保育園が、その受け皿の機能を担うことから支援するものである。
議員 地籍調査費5百万円の補正内容について伺う。
答弁 旧公園との整合性が取れていない曲田Ⅲ地区の再調査費で、平成30年度にさらに1千5百万円を計上し、調査の完了を見込んでいる。



日本ジオパーク認定申請時のプレゼンテーション

議員 ジオパーク構想については財政負担、経済効果等を考慮すると、今後果等も日本ジオパークの認定取得を目指すのか。

答弁 今後も継続して活動するが、ジオパーク構想推進協議会や関係団体と内容を相談しながら進めたい。活動の過程で、関連商品の開発や子どもたちの教育への活用等により、地域の活性化に結び

平成28年度決算に関する総括質疑

つける事業としたい。
議員 烏山の山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録後、山あげ会館の入場者の増減について伺う。
答弁 昨年12月から5月までは20%増加したが、山あげ祭を開催した7月には15%減少した。

議員 下野の国二大祭り×2市+まちなちの賑わい∞(無量大)プロジェクトにおいて、2市広域連携事業に取り組み、成果を残した。今後の鹿沼市との絆をどのように活かしていくのか伺う。
答弁 国庫補助金の交付が平成28年度で終了し、限られた自主財源の中で事業を行う状況である。鹿沼市とは、互いの交流を深めながら祭りのPRに努めることとしている。

議員 那須烏山市武道館は、4億1121万円を整備されたが、当初の議会に対する説明では総事業費3億円程度とのことであった。予定の金額を超過した要因を伺う。
答弁 当初は市民公園を残す計画があつたため、現在と建設予定位置が異なつていった。結果的に市民公園を残そうとした場所は現在の駐車場となり、計画を変更して地下式調整池や公園撤去等の整備をしたことが、費用が増加した要因である。

議員 水道事業の有収率が低いと言われるが、その一因である漏水箇所を年間発生件数と原因を伺う。
また、耐震化のため配水管の布設替えも必要だが、膨大な長さであることから実施が難しいことも理解する。様々な問題に優先順位をつけて解決されたいが、中でも配水池までの送水管の耐震化が第一だと思ふ。送水管の耐震化の状況を伺う。
答弁 漏水箇所は水道事業区域で76件、簡易水道事業区域で12件である。水道管の老朽化が漏水の最大の原因であると考えられる。送水管も含め、水道管の総延長は膨大であるため、計画的な改修を進めていきたい。耐震化率については、平成27年3月31日現在、水道管全体で4.5%である。

議員 奨学資金制度について、全申込に対して給付を決定したのか伺う。
答弁 同制度は、能力があつても経済的理由によつて就学困難な者に対する措置であることから、申込をしても必ず支給が決定されるというものではない。



外構整備を予定している武道館

JR烏山線利用促進 対策特別委員会

活動報告

昨年11月「烏山の山あげ行事」がユネスコ無形文化遺産に登録されてから初めての山あげ祭本番を迎えた7月22日、烏山駅前 JR烏山線を利用して山あげ祭にお越しいただいたお客様を歓迎する「お出迎え」のため、市議会議員の他、やまどもも集合しました。

午前11時40分着の「アキム」が満員の乗客を乗せて到着。横断幕を掲げて歓迎の声をかける議員が、乗客からカメラを向けられる場面もあり、和やかな「お出迎え」となりました。本年も大勢のJR職員の対応により、Suicaの乗り越し精算はスムーズに進みました。

JR烏山線は本市と県都宇都宮市、首都圏を結ぶ大動脈です。その存続と更なる利用向上を図るため、市ではJR烏山線沿線でのひまわり、ユリの植栽などに取り組んでおり、また、烏山駅前整備も進めています。

委員長 高田 悦男



やまどもとともにお出迎えする議員

経済建設常任委員会

研修報告

当委員会は8月1日(2日)に新潟県への視察研修を行い、柏崎市高柳町地区のグリーンツーリズムを視察しました。同地区の7割は山間豪雪地帯で、柏崎市との編入合併前には人口減少率が県内最大でしたが、官民一体の高柳町ふるさと開発協議会で2年の研究討議を重ね、「住んでよし訪れてよし」の町づくりの開発振興ビジョンを策定しました。各種観光、宿泊施設を拠点に農村滞在型交流観光を進めた結果、年間利用客20万人を誇るまでになりました。条件が厳しくとも地域資源を生かすまちおこしが重要と痛感しました。

次に聖籠町の小規模企業振興条例制定後の取り組みを視察しました。平成27年3月に条例を制定した後、事業所へのアンケートを実施し、関連計画を策定するなど、具体的支援策を形にしています。本市にも具体策が求められます。

委員長 平塚 英教



農村滞在型交流観光施設じょんのび村でグリーンツーリズムの説明を受ける議員

総務企画常任委員会

研修報告

当委員会は8月9日(10日)に先進地行政視察を行いました。岩手県遠野市道の駅「遠野風の丘」は、東日本大震災時に沿岸被災地の後方支援拠点として機能した施設で①広域防災の拠点②復興に向けた産業振興の拠点③スタッフ常駐による観光や地方移住等総合案内の拠点としての3本柱を強化し、年間来場者は100万人を超え、全国モデル道の駅に選ばれています。

続いて視察した遠野みらい創りカレッジは、震災復興活動を機に遠野市と富士ゼロックス(株)が協定を結んで設立しました。閉校した中学校を活動拠点に、交流人口増加や魅力発信、産官学民連携の地域振興を図ることで、多くの人が学びを目的に訪れ、交流人口拡大の一助にもなっています。

同じ人口規模の自治体を取り組む先進的な事業は参考になり、有意義な研修となりました。

委員長 沼田 邦彦



遠野みらい創りカレッジの施設案内を受ける議員

行財政改革調査特別委員会

研修報告

当委員会では、平成29年8月23日に先進地視察研修として群馬県下仁田町を訪れました。下仁田町は人口7796人で高齢化率は45.36%、面積188平方キロのうち85%が山林原野の山間の町です。

かつての下仁田町の路線バスは利用者が減少し、運行維持が困難な状況でした。これに加え、町内の小学校が統廃合により1校となったことを機に、利便性向上と経費の抑制、地域コミュニティの活性化をねらい、スクールバスを一般住民に開放する一般混乗を開始しました。児童生徒と一般客は、午前6時から8時30分まで、午後3時から6時30分までの時間帯は混乗し、一般客の運賃は無料。児童生徒の利用がない午前8時30分から午後3時までの運賃は200円とのことです。

本市の公共交通においても検討の余地があることを考えさせられた研修でした。

委員長 樋山 隆四郎



スクールバスの混乗について質問する議員

9月定例会の本会議日程と傍聴者数

月日	内容	傍聴者数
9月5日(火)	開会・報告・上程・採決・付託	5人
9月6日(水)	一般質問	17人
9月7日(木)	一般質問	12人
9月8日(金)	決算総括質疑	3人
9月15日(金)	上程・報告・採決・閉会	8人
計		45人

意見書提出

9月定例会での決定を受け、「道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書」を関係行政庁あて提出しました。

議会を傍聴してみませんか

議会を傍聴することは、市政を知っていただく最も良い方法です。詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。
(TEL 0287-88-7114)

12月定例会は、 11月30日(木) 開会予定です。

正式な日程は11月22日(水)に開催される議会運営委員会で決定されます。

川俣純子議員は、平成29年8月31日をもって辞職しました。

議員辞職に伴い、議会選出監査委員には小森幸雄議員が就任しました。他の委員等に異動はありません。
〔平成29年9月1日現在 議員数17名(議員定数18名)〕

あしがき

大地に実った黄金色の稲穂が刈り取られ、新米の季節となりました。今年7、8月の気象条件が悪く、日照不足のため収穫量が平年の2割減と聞き、自然を相手にしていることの大変さをあらためて痛感しているところ

10月10日に人工衛星「みちびき」4号機を載せたH2Aロケットの打ち上げが、8月の同3号機に続いて、成功しました。これらにより来年度から日本版GPS(全地球測位システム)の本格運用が始まるということです。これまでは10メートル程度の測位誤差が、数センチのレベルになり、車の自動運転、無人トラクター、災害時の被災状況の把握や救援活動にも生かされるとあって、大きな期待が寄せられています。

一方で、少子高齢化、人口減少問題を一因に、人と人とのかわりが希薄になってきている現状があります。人、地域とのかかわりが重要となつた今こそ、子どもから高齢者まで、たくさんの「人の目」で見守っていただければ幸いです。